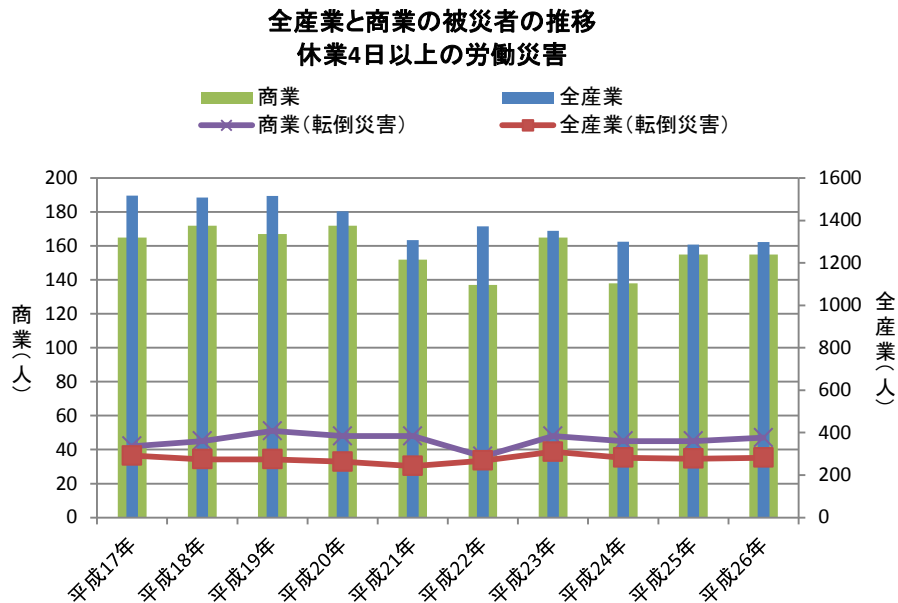


● 全産業と商業における転倒災害の発生状況

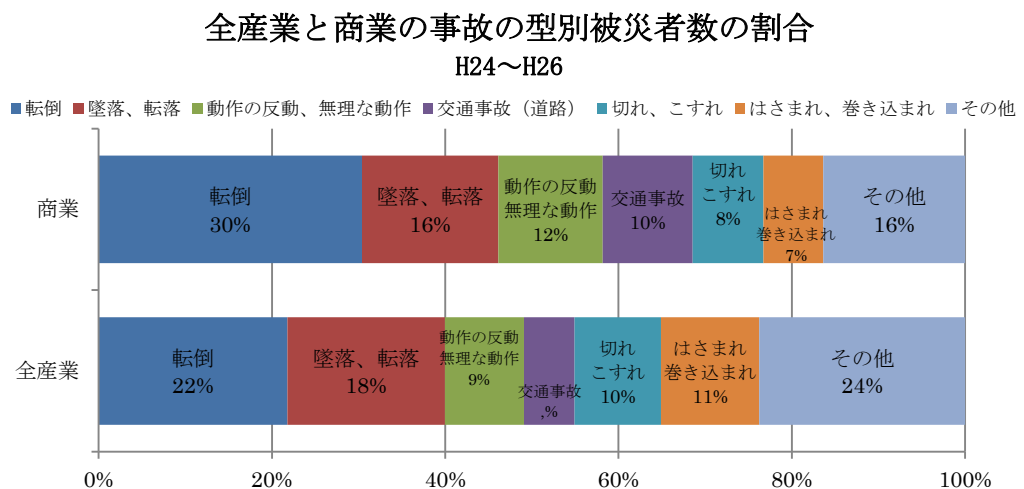
宮崎県内の休業4日以上の労働災害（平成17年～平成26年）の発生状況をみると、全体的には減少傾向にあるが、転倒災害は横ばい状況にある。また、商業では労働災害は減少傾向にあるが、転倒災害は増加傾向にある。



● 全産業と商業における転倒災害の割合

宮崎県内の平成24年から平成26年の労働災害について事故の型別でみると、商業では、「転倒」、「墜落、転落」の割合が高くなっている。

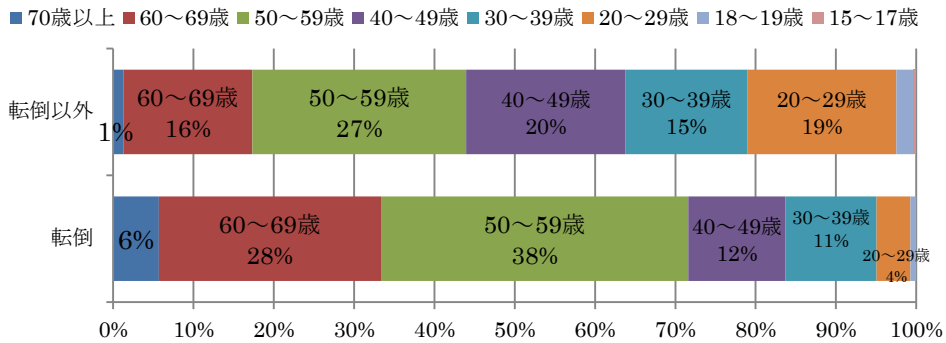
全産業と比較すると、「転倒」、「交通事故」、「動作の反動、無理な動作」の割合が高くなっている。



● 商業における年齢別転倒災害の割合

商業の平成24年から平成26年の年齢別被災者数の割合をみると、転倒を除く災害については、50歳代が27%、40歳代が20%、60歳代が16%、30歳代が15%となっているが、転倒災害については、50歳代が38%、60歳代が28%、40歳代が12%となっており、50歳以上の割合が非常に高く72%（転倒以外の災害では44%）を占めている。

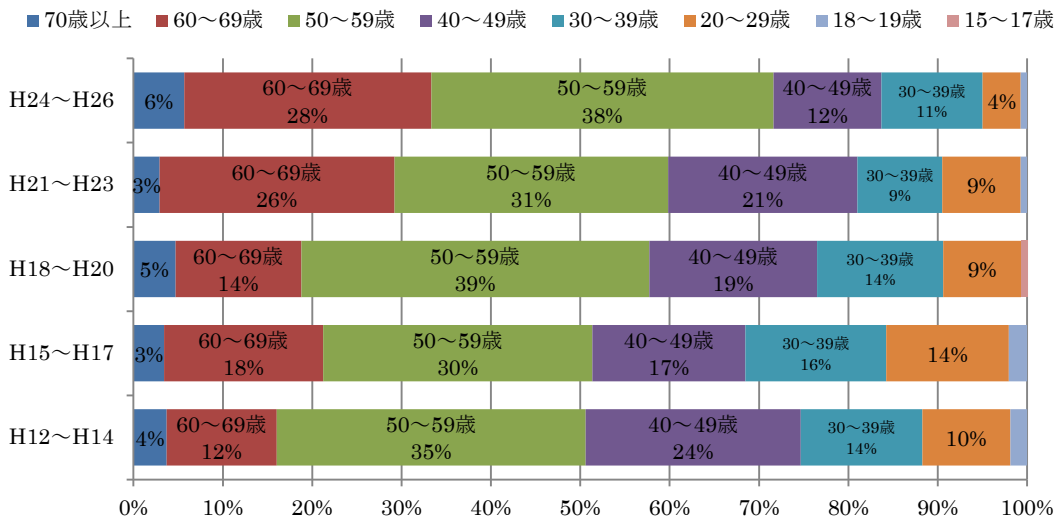
転倒災害と転倒以外の災害の年齢別被災者数の割合
商業・休業4日以上労働災害
H24～H26



● 商業の転倒災害における年齢別割合の推移

商業における転倒災害について年齢別割合の推移をみると、60歳以上が大幅に増加し、40歳代は減少している。

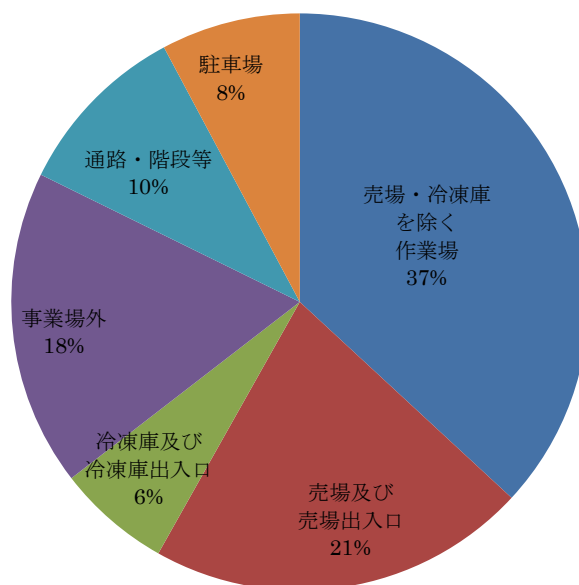
商業における転倒災害の年齢別割合の推移



● 商業における発生場所別の転倒災害の割合

商業における発生場所別の転倒災害の割合
休業4日以上（H24～H26）

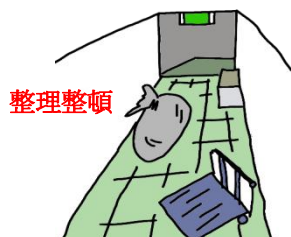
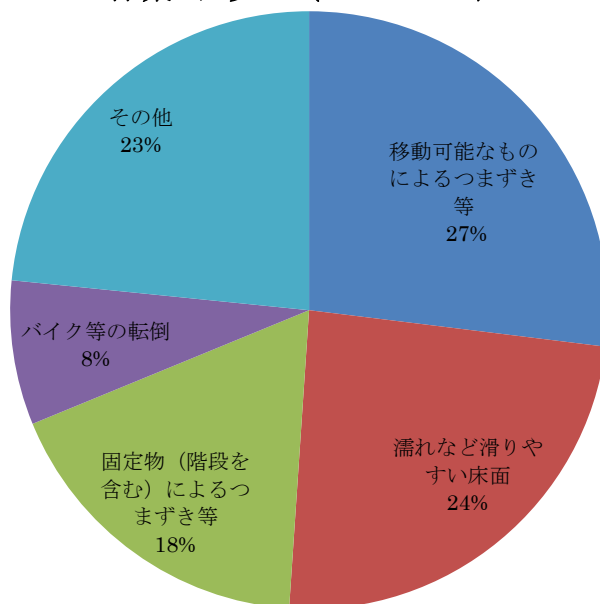
平成24年から平成26年の商業における転倒災害について、災害の発生場所別にみると、作業場（売場、売場出入口、冷凍庫、冷凍庫出入口を含む）64%、配達中など事業場外での災害18%、通路・階段等10%で、駐車場での災害も8%となっている。



● 商業における起因物別転倒災害

商業における起因物別転倒災害の割合
休業4日以上（H24～H26）

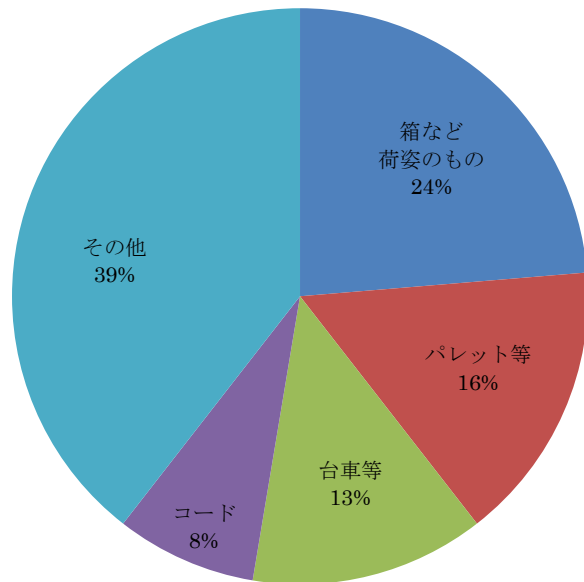
商業における転倒災害については、「荷物など移動可能なものによるつまずき等」が27%、「水濡れ等による滑りやすい床面等」が24%、段差、階段、車止め等の「固定物によるつまずき等」が18%となっており、バイク等の転倒による災害も8%となっている。



● 「移動可能なものによる躓き等」に係る転倒災害

移動可能なものによる
転倒災害の具体的起因物
休業4日以上 (H24~H26)

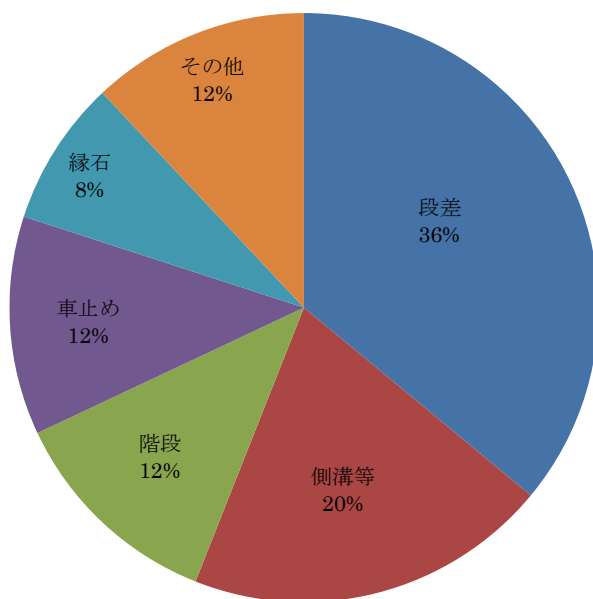
「移動可能なものによる躓き等」に係る転倒災害は、商業の転倒災害の27%を占めているが、その起因物としては、「箱などの荷姿のもの」が24%、「パレット等」が16%、「台車等」が13%等となっている。



● 「固定物によるつまづき等」に係る転倒災害

固定物による躓き等に係る
転倒災害の具体的起因物
休業4日以上

「固定物によるつまづき等」に係る転倒災害は、商業の転倒災害の18%を占めているが、その起因物としては、「段差」が36%、「側溝等」が20%、「階段」が12%、「車止め」が12%等となっている。



● 「滑りやすい床面等」に係る転倒災害

「滑りやすい床面等」に係る転倒災害は、商業の転倒災害の24%を占めているが、発生場所を見ると、「売場、冷凍庫以外の作業場」35%、「売場」20%、「冷凍庫」18%、「配達中など事業場外」での災害が15%、「通路・階段」9%などとなっている。

転倒注意



滑りやすい床面等に係る転倒災害
H24~H26

